

平成22年度公益活動事業補助金 第1回交付決定内容

補助率【初動支援 事業費の2分の1以内で限度額10万円】 【自主事業 事業費の2分の1以内で限度額50万円】

(単位:円)

No.	コース	事業分野	団体名	決定	事業名/事業概要(申請書類から転記)	事業費 総額	補助 申請額	決定額	交付条件/不交 付理由	市民協働推進会議から市への意見
1	初動支援	人権・ 平和	平和575実行委員会	交付	<p>「平和575(俳句・川柳)展示会」</p> <p>終戦65年を迎え、改めてあのアジア・太平洋戦争を振り返り、戦争に反対し、平和の大切さを認識し、平和を築く取組を進める動機付けの機会としたい。 平和都市宣言をしている北広島市の市民としての意識の広がり、つながりを目指し、平和を願う「俳句・川柳」の展示会を年2～3回開催します。</p>	104,600	50,000	50,000	特になし	<p>本事業は、平和都市宣言に沿った内容であり、平和の大切さを認識するために市民の意識の広がりを期待できるものです。 成果を形として残していくためにも、市として補助金を交付して支援すべき事業であると考えます。</p>
2	自主事業	人権・ 平和	北広島九条の会	交付	<p>「バトンタッチ-市民が語る戦争体験-」 発刊等にかかる事業</p> <p>65年前の戦争の悲惨さを後世に伝えて行きたい。今がその最後のチャンスと捉え、戦争・戦時の体験を持たれた市民、或いはそのお話を聞いておられる遺族の方やその遺品などをお持ちの方に情報の提供を呼びかけ、その言葉を子や孫に語り継いでいきたい。 こうした願いを受けて平成21年10月に「バトンタッチ第I集」1,000冊を発刊した。更に継続を望む声が多数寄せられたため、第II集、第III集を発刊する。また、学習会、「戦争体験を聞く会」「戦跡めぐり」も企画・実施する。 「平和都市宣言」に相応しい、戦争体験の掘り起こしと考えています。</p>	580,000	290,000	290,000	特になし	<p>本事業は、平和都市宣言に沿った内容であり、平和の大切さを認識するために市民の意識の広がりを期待できるものです。 成果を形として残していくためにも、市として補助金を交付して支援すべき事業であると考えます。 なお、申請は初動支援コースであるが、団体の活動実績や事業費総額を考慮すると自主事業支援コースにて補助すべきと考えます。</p>
3	自主事業	情報化 社会	特定非営利活動法人 北広島ITネットワーク	交付	<p>「デジタルビデオ撮影者養成講習会 (市民ディレクター養成)」</p> <p>北広島にはケーブルテレビなど「文字+動画+音声」による地域情報の発信がありません。地域情報の発信には、市民ディレクターの活動が必要です。暮らしの中から、地域の特色を映像で表現し、市民が自ら発信する市民ディレクターの養成を行います。</p>	226,320	113,000	113,000	特になし	<p>本事業は、地域情報を市民自ら発信するというコンセプトのもと市民ディレクターを養成するということに、地域のことは地域でという先導的な役割を担う取り組みです。 また、高齢者の生きがい対策、まちづくりのための人材育成として、今後の広がりが期待できるとともに、事業が発展していくと北広島市の魅力発信というシティプロモーションに繋がることから、市として補助金を交付して支援すべき事業であると考えます。</p>
合計						910,920	453,000	453,000		